
目次

- 【01】 事業報告1
 - 堺市留学生・ボランティア通訳合同防災訓練
 - ワン・ワールド・フェスティバル
 - 大阪府海外移住家族会講演会「ブラジル最新事情概説」
 - 総領事館との第2回意見交換会
- 【02】 投稿コーナー
 - インターン報告「一期一会」
 - 北区域交流まつりに参加して
- 【03】 外国人情報コーナー
 - 税金の話
- 【04】 OFIX国際交流員のレポート
 - フィリピンの教育

【01】 事業報告1

■ 堺市留学生・ボランティア通訳合同防災訓練

堺市、堺市留学生交流事業実行委員会、大阪府国際交流財団の共催で、平成24年12月23日に堺市留学生・ボランティア通訳合同防災訓練がわれました。

防災訓練は、避難所を体験する班と被災者を支援する班との2班に分かれ、それぞれのプログラムを体験しました。避難所体験班では、まず、阿倍野防災センターで地震を体感し、地震が起きた場合は第一に身の安全を確保と、火の元の確認や出口の確保等落ち着いて行動することの重要性を学びました。その後、避難所に避難することや安否確認の大切さを学び、堺市役所に設置された仮設避難所で、避難所体験を行いました。避難所とはどういうものか知らなかった留学生が、知らない者同士一つのグループになって順番に避難者名簿の記載や行政担当者への相談などを体験しました。

被災者を支援する班では、災害時の外国人支援の重要性について学んだあと、実際に避難所体験をしている留学生が避難者名簿を記載するサポートをしたり、行政担当者への相談通訳を実施するなど、避難所運営が円滑に行われるための訓練を実施しました。

一日を通してのプログラムに少々疲れ気味の参加者でしたが、参加して楽しかった、勉強になったと言って帰って行きました。OFIXでは今後も引き続き災害時の外国人支援事業を実施する予定です。

■ 大阪府海外移住家族会講演会「ブラジル最新事情概説」

OFIXが事務局を務める大阪府海外移住家族会では、2月19日(火)に研修会として(株)タス・インターナショナル 代表取締役 安倍 達宗 氏を講師としてお招きし「ブラジル最新事情概説」と題し講演会を開催しました。

当日は会員、会員紹介のご友人、OFIXボランティア等の他、ご来賓として大阪大学 コミュニケーションデザインセンター 教授 林田 雅至 様、JICA関西、大阪府からもご臨席いただき、また一昨年の講師を務めていただいた奈良県 ポルトガル語相談員 玉田 エミリア 美恵 様にもご参加頂きました。

日本とブラジルとの懸け橋となる事業に長年携われる講師の安倍様には、急速な経済成長を遂げるブラジルの現状や、ご自身の多岐にわたるビジネスについてお話し頂きました。在日ブラジル人の人材派遣や就職支援を通し、彼らの直面する課題にも触れられ、両国の関係について深く考えさせられる大変有意義な講演となりました。

大阪府海外移住家族会では今後も日系人支援や理解に関する活動を継続していく予定です。

■ ワン・ワールド・フェスティバル

2月2日(土)・3日(日)に、第20回のワン・ワールド・フェスティバルが大阪国際交流センターで開催され、天気にも恵まれ2日間で16,500人の来場者がありました。

このフェスティバルは毎年大阪で開催されている西日本最大の国際協力・交流のイベントで、国際協力にかかわるNGOをはじめとして、国際機関、政府機関、教育機関、企業など様々な機関が活動紹介ブースを出展しています。

OFIXも実行委員会メンバーとして企画の段階から参加し、広報担当として、在関西の総領事館、各言語のエスニックメディアにも記事を掲載してもらい、FMCOOLOにも広報協力をお願いしました。

その成果が、昨年までに比べて、外国人来場者数も増加し、日本人来場者と交流し本当の意味でのワン・ワールド・フェスティバルを開催することができたと思っています。

各国の屋台を集めた「みんなのキッチン」も長蛇の列で外国の珍しい料理を皆さん堪能されていました。

■ 総領事館との第2回意見交換会

平成25年2月12日(火)に(公財)大遊協国際交流・援助・研究協会主催、大阪府国際交流財団(OFIX)協力の、総領事館との意見交換会がホテルプリムローズ大阪で開催されました。

出席者は大遊協の奨学生及びOFIXサポーターの皆様、ならびにそれぞれの母国の総領事館職員、大遊協の役職員、OFIXの役職員、来賓として大阪府府民文化部の楠本国際交流監をお招きして、在関西の総領事館からは中華人民共和国在大阪総領事館、在大阪インドネシア共和国総領事館、在大阪大韓民国総領事館、在大阪・神戸フィリピン共和国総領事館の皆様のご参列をいただき、大阪大学で学んでいる中国の李 泰儒さん、大阪府立大学で学んでいる、大阪府堺留学生会館オリオン寮のチューターでもあるインドネシアのデウイ クスリニ さんが、それぞれ代表として前向きな発表を行いました。

総領事館の皆様も感謝の意とともに大阪に海外からの留学生を数多く呼び込むための建設的な意見が述べられました。

【02】投稿コーナー

この度、奈良女子大学からのインターンとして7か月間OFIXで活躍された王 飛雪さんと、大阪府堺留学生会館オリオン寮でチューターとして活躍されている大阪府立大学の石原 大己さんから投稿をいただきましたので、ご紹介します。

■ インターン報告「一期一会」

王 飛雪(奈良女子大学人間文化研究科 博士研究員)

中国の古都の洛陽市からまいりました王 飛雪と申します。皆さまのお陰で、無事に大阪府国際交流財団(OFIX)でのインターンシップを終えることができました。7ヶ月の短い間に、色々大変貴重な体験を積むことができたこと、皆さまに深く感謝申し上げます。

私は平成24年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ポストドクター・インターンシップ推進事業」の支援制度を受けて、昨年8月から今年の2月までの間、念願のOFIXでのインターンシップをすることができました。初日から大阪の未来図を描く大阪府の「グランド・デザイン・大阪」の中国語翻訳を任せられ、パソコンに向かって一生懸命に翻訳しました。とても大事な公式翻訳なので、頻りに辞書を調べて慎重に行いました。出来上がった時には、大分自信ができました。その後、ほかの分野でも次々と翻訳を任せていただいて、翻訳をするのと同時に、知らないことも勉強でき、視野が広がりました。また、外国人情報コーナーで「仕事と在留資格」「学校」「健康保険」等に関する中国語通訳の他、OFIXに登録しているボランティアの研修やサポーター連絡会議に、起案からかわらせて頂きました。留学生向けの防災ワークショップ等の活動も体験でき、毎日とても充実した日々でした。OFIX職員の皆さんから色々教えていただき、とても有意義な7か月を過ごすことができました。このインターンシップを通して、日々支えてくれる仲間と共にやり遂げる達成感や喜びを深く味わい、今後とも、一期一会の精神を忘れずに頑張りたいと思います。

■ 北区域交流まつりに参加して

大阪府堺留学生会館オリオン寮チューター
石原 大己(大阪府立大学知能情報工学科)

昨年度に引き続き、北区域交流まつりに参加させていただきました。北区域交流まつりとは、堺市北区にお住まいの方々の親睦や交流・連帯を深めることを目的としたまつりです。このまつりに西百舌鳥校区として出店をさせていただきました。まつりのために夏から寮生と地域の方で何度も会議を重ねて売り出す商品を検討しました。様々なアイデアが挙げられて、その中から留学生の特色が出せること、特殊な技術を要せずに地域の方も一緒に作れることから各国の手作り料理を売り出しました。材料を留学生が自国から取り寄せる、専門店を探して買い出しに行くことで各国の料理の味が再現できました。

まつりの当日は天候に恵まれ、昨年度よりも多くの方が私たちの店舗に訪れてくださいました。4商品をそれぞれ100人分用意して売り出し、2商品は午前うちに完売となり、残りの2商品もほぼ完売することができました。これは寮生と地域の方が協力し合ったおかげであると感じています。まつりに参加された地域の方の中には、オリオン寮の新入寮生歓迎会に参加してくださった方もいらっしゃいました。まつりを通して寮生と地域の方の親睦が深まっていることを実感しています。留学生の方で日本のまつりに出店したいという方がおられたら、ぜひオリオン寮に入寮して頂きたいです。

【03】外国人情報コーナー

確定申告の時期がきていますので、今回は税金のトピックスを選びました。現在の確定申告は平成24年1月1日から12月31日までの所得に関する税金の処理ですので、税率は今まで通りですが、今年25年は税率に関して、変更があります。皆さんの給与明細からの源泉徴収額が少しだけ増加しているのに気付かれなかったか。東日本大震災(平成23年3月)からの復興に必要な財源を確保するための「復興特別所得税」が創設されました。これにより平成25年から平成49年までの各年分の確定申告については、所得税及び復興特別所得税を併せて申告・納付することになります。給与所得者の方は、平成25年1月1日以降に支払を受ける給与等から所得税及び復興特別所得税が

源泉徴収されることとなります。復興特別所得税を含めた合計税率は、
[合計税率(%) = 所得税率(%) × 102.1%] となります。

【大阪府外国人情報コーナー】

対応時間 : 9時から5時30分 (月から金)

相談直通電話 : 06-6941-2297

対応言語 : 英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語、
スペイン語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語

【04】OFIX国際交流員のレポート

■ フィリピンの教育

皆さん、こんにちは。OFIXの国際交流員のアルビンです。皆さんは
今月も私の記事を楽しみにしてくれているのでしょうか。仕事上で会う人から
「OFIXニュースを読んでいますよ。あなたが書いた記事は面白い!」と
よく言ってもらえます。ありがとうございます。良い記事が書けるように
頑張ります。今月の話題に入る前に12月号の記事の訂正をいたします。
その記事に「1914年に戦争中のドイツと米国の兵士たちが・・・」と書き
ましたが、「米国」ではなく「英国」でした。申し訳ありませんでした。

さて今月の話ですが、それはフィリピンの教育制度についてです。
フィリピンの教育制度は日本と違っていました。最近変わりつつあります。
2011年まではフィリピンの教育制度は6-4の制度でした。それは小学校6年間と
高校4年間だけです。中学校はありませんでした。したがって、学生は16歳か
17歳の若い年で大学に入学します。義務教育は小学校から高校まででした。
この10年間の教育制度は、海外留学をしたい学生にとって問題でした。
それは他国の教育制度と違うからです。私もそれで困っていた学生の一人
でした。それは日本に留学した時に、ほとんどの日本の大学院に入るには
16年間の教育が必要でした。そのため、やむを得ず日本の大学に1年間
研究生として勉強しなければなりません。

現在のフィリピン大統領は、フィリピンの今後の発展のためにフィリピンの
教育制度を多くの海外の教育制度と合わせないといけないということを知って
いました。この問題の解決に長年かかりましたが、やっと2012年に、フィリピン
政府が制度を変えました。現在K-12 制度と呼ばれています。

この制度の下で10年間の教育制度は13年間になりました。何が変わったかと
言うと、幼稚園が1年間の義務教育になりました。小学校の年数は変わら
ないが、以前の高校は4年間の中学校になりました。さらに、新しく2年間の
高校が出来ました。呼び方も少し変わりました。昔、高校1年生から4年生と
呼ばれていたものが、今は7年生から12年生と呼ばれています。これで、
フィリピンの子どもは10年間から13年間 勉強しなければなりません。

授業は月曜日から金曜日までで、ほとんどの学校では土曜日は授業を
行わないが、限られた私立学校では土曜日でも授業を行います。小学校から
高校の学校の授業時間は午前7時から16時までです。中休みは15分で昼休みは
1時間です。

教える時の使用言語ですが、幼稚園から英語が使われていますが、英語は
全ての科目で使われているわけではありません。そして、英語をどの程度で
使用するかは学校にもよります。私立学校の方が英語をよく使います。
教科書のほとんども英語で書かれています。

フィリピンの生徒はよく勉強しますが、日本人ほどではありません。それは、
フィリピンの生徒は塾に行かないので、遊ぶ時間がたくさんあるからです。
受験生になっても「受験勉強」という言葉もありません。ただそれぞれの生徒は
自分なりに頑張って勉強しています。実は私もあまり「受験勉強」はせずに、
運よく希望の大学に入学することができました。
いかがでしょうか。フィリピンの教育制度についてご理解いただけたでしょうか。
まだまだ改善すべきところはたくさんありますが、少しずつ変わって行きます。

★大阪府メールマガジン情報★ 『GEO (Global E-net Osaka)』
大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介する
メールマガジンです!
⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★

- ※イベントカレンダー：国際交流に関するイベント情報を紹介しています。
⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi/calender.cgi>
- ※イベントカレンダーへの情報提供をお待ちしています。
⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi/event.cgi>
- ※国際理解学習の授業（小中高）に国際交流員や留学生等を派遣します。
⇒ <http://www.ofix.or.jp/jigyuu/index2.html>
- ※OFIXボランティアの登録制度のご紹介
⇒ http://www.ofix.or.jp/boran/index3_1.html
- ※OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。
⇒ http://www.ofix.or.jp/ofix/index4_1.html

≫≫ OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら
⇒ info@ofix.or.jp

≫≫ 大阪国際クラブの会員の皆様からの海外情報（レポート）はこちら
⇒ clubnews@ofix.or.jp

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら
⇒ <http://www.ofix.or.jp/mail/index.html#japanese>

≫≫ 「OFIXニュース」印刷版はこちら ※写真入りで内容も詳細に。
⇒ http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no55.pdf

≫≫ バックナンバー
⇒ <http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber.html#japanese>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
発行：(公財)大阪府国際交流財団 (OFIX)
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイド-ムおおさか5階
TEL 06 (6966) 2400 FAX 06 (6966) 2401
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆